

池田地区コミュニティだより



池田地区「おめでとう会」 約千人の参加者が新春に集う！

第42回池田地区「おめでとう会」が、1月8日（日）、池田交流センター駐車場で開催されました。今年も屋外のみで開催でしたが、昨年同様に受付で紅白饅頭の進呈があり、お楽しみ景品が当たる福引き抽選会が行われました。午前9時の開始とともに楽しみにしていた住民らが次々と訪れ、受付を済ませると今年の運試し、福引き抽選に臨みました。今回は、自治会の模擬店も復活し、人気の焼き芋のほか、おでん、蕎麦、フランクフルト、焼きそば等の7店舗が出店。模擬店の一角には休憩コーナーが設けられ、大勢の家族連れでにぎわい活気にあふれていました。

今回は、行動制限がない中の開催でしたが、住民の出足は昨年以上で約1,000人も住民が参加していただいたと見込まれます。1日も早く、従来のおめでとう会に戻ってほしいものです。



▲3年ぶりに賑わう「おめでとう会」の自治会模擬店

願うは健康と世界平和と・・・

今年も健康でありますように・・・！

池田天白神社で元旦祭

参拝者に甘酒とお汁粉の「おもてなし」

2023年の元旦は穏やかな天気恵まれ、今年1年の家族の健康を願うとともに、良い年のスタートであってほしいものです。午前零時、厳かに始まった元旦祭に参拝した方々には甘酒。午前10時からお汁粉のサービスで参拝者におもてなし。氏子総代の皆様、心温まるおもてなしに感謝いたします。ありがとうございました。長いコロナ禍社会が終わり、健康で戦争のない平和な社会になってほしいと願うばかりです。



▲初詣の参拝者に「お汁粉」を振る舞うおもてなし

「池田の日」に津軽三味線と民謡

1年間に第五日曜は4度あります。池田の日は、コロナ禍で失われた舞台発表等の機会を提供する場で、池田交流センター独自の活動です。今年度最終の「池田の日」は、1月29日の日曜。新春音楽会と題して、今回は「津軽三味線と東北民謡の調べ」を開催しました。池田交流センターで活動する竹青会を母体に、全員が岩手県出身者の「東北民謡同好会」の協力で、津軽三味線、尺八、太鼓による民謡をお楽しみいただきました。民謡全国大会で優勝経験があるほどの歌唱力に、50人ほどの聴衆者の心を魅了していました。



▲池田交流センターにて（津軽三味線と東北民謡の調べ）